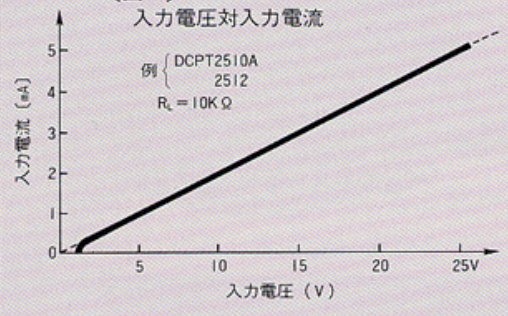
■基本特性と使用例

〔図4〕
入力電圧対入力電流



〔図5〕
入力電圧対出力電圧

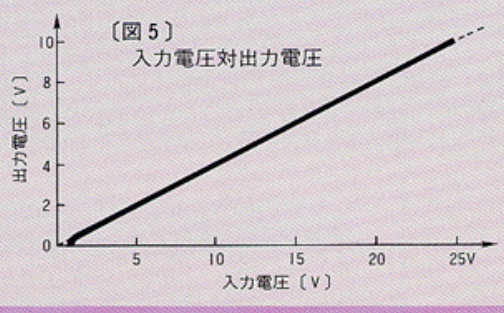
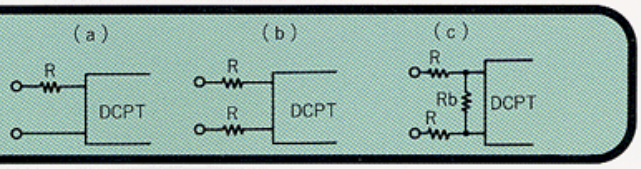


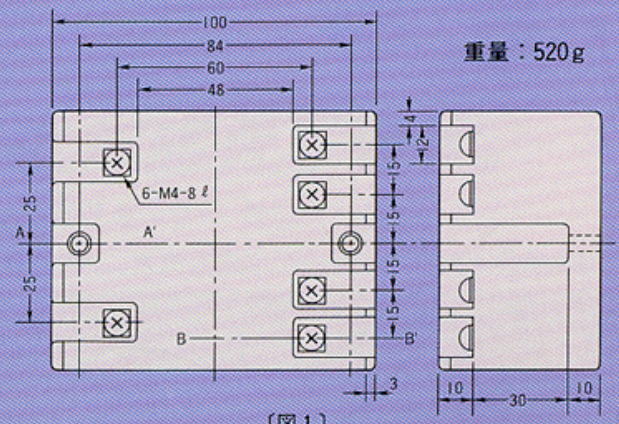
図4はDCPT-2500シリーズの入力インピーダンスが、規格の入力電圧範囲において、常に一定であることを示しています。したがって、25Vより高い入力電圧下で使用する場合には、入力の2端子間を抵抗と見放し、外部に抵抗を挿入します。つまり、入力端子間電圧を25V以下になるように設計してください。また、図5が示すように、出力に定格負荷抵抗を入れた場合には、入力電圧が25V時、出力は10Vとなります。これ以下の入力電圧では約1.5Vまでは直線性を保持しながら、対応した出力電圧を得ることができます。分圧の回路として、主に下記のような3つの方法が行われます。

〔図6〕

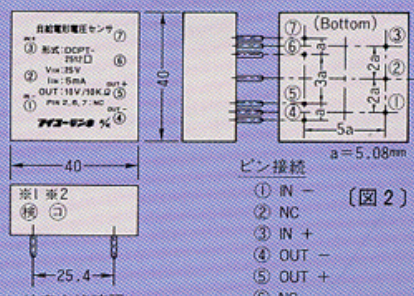


いずれの場合も抵抗の安定度によって性能が左右されます。その損失電流を考慮して設計してください。なお、図6中の〔C〕は、Rbに電流を流し、DCPT-2500シリーズの安定性を補う回路です。DCPT-2500シリーズの最小検出入力電圧は、入力抵抗がない場合、約1Vとなっています。入力抵抗がある場合は、電圧値により電流値により最小検出入力電圧が決まり、その値は約50μAです。したがって、入力抵抗が200kΩの場合、200kΩ×50μA＝10Vとなります。

■外形図



〔図1〕



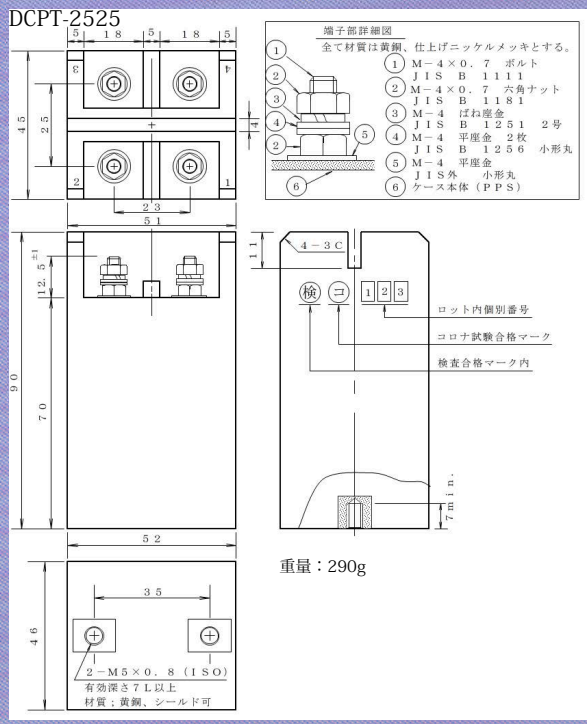
重量：50g

ピン接続
① IN −
② NC
③ IN ＋
④ OUT −
⑤ OUT ＋
⑥ NC
⑦ NC

〔図2〕

※1,検査合格確認マーク
※2,コロナ・テスト合格マーク

DCPT-2525



重量：290g